

## 第2章 基礎資料の整理

### 1. 現況調査

#### 1-1. 自然的現況調査

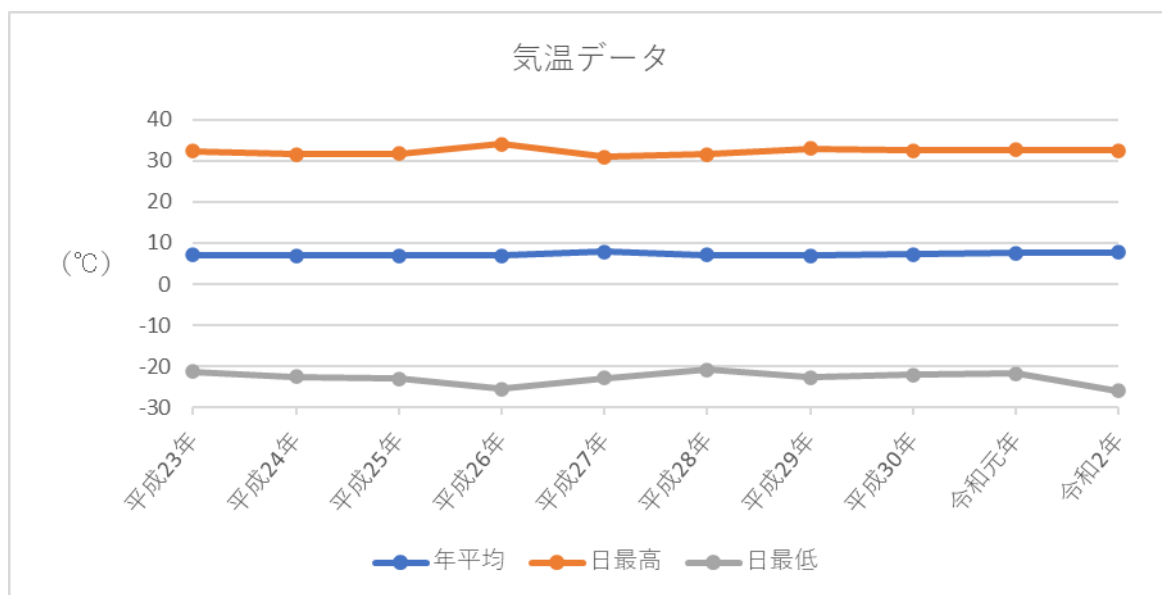
##### (1) 気象

本市の気候は内陸性の気候となっており、降水量・降雪量は多く、秋には集中豪雨、冬には豪雪などの災害が発生することがあります。

令和2年（2020年）の気象概況を見ると、平均気温は7.7℃、最高気温は32.5℃、最低気温は-26.0℃、降水量（合計）は955mm、最深積雪量は67cmとなっています。この年の最深積雪量は比較的少なく、例年では100cmを超える年が多いです。

また、地球規模での温暖化が懸念されていますが、砂川市近傍地域においても、過去20年における年ごとの日平均気温の推移を見ると、わずかながら上昇傾向にある様子がうかがえます。

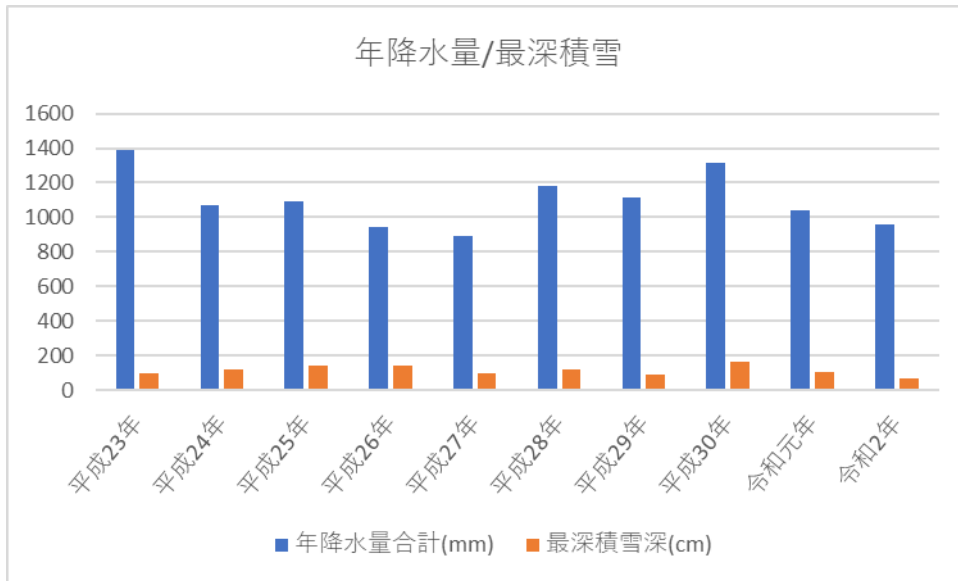
図 近隣地観測所（アメダス滝川）における気温データ



項目 \ 年	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)
年平均気温 (°C)	7.1	7	6.9	6.9	7.8	7.1	6.9	7.3	7.5	7.7
日最高気温 (°C)	32.3	31.6	31.8	34.1	31	31.5	33	32.5	32.7	32.5
日最低気温 (°C)	-21.3	-22.5	-23	-25.5	-22.8	-20.8	-22.7	-22	-21.8	-26

「資料」：気象庁

図 近隣地観測所（アメダス滝川）における降水量/最深積雪量データ



年	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)
年降水量合計(mm)	1389	1070.5	1090.5	944	893	1183.5	1111.5	1311.5	1042.5	955
最深積雪深(cm)	98	123	141	145	100	117	90	167	102	67

「資料」：気象庁

図 近隣地観測所（アメダス滝川）における過去 20 年における年日平均気温の推移

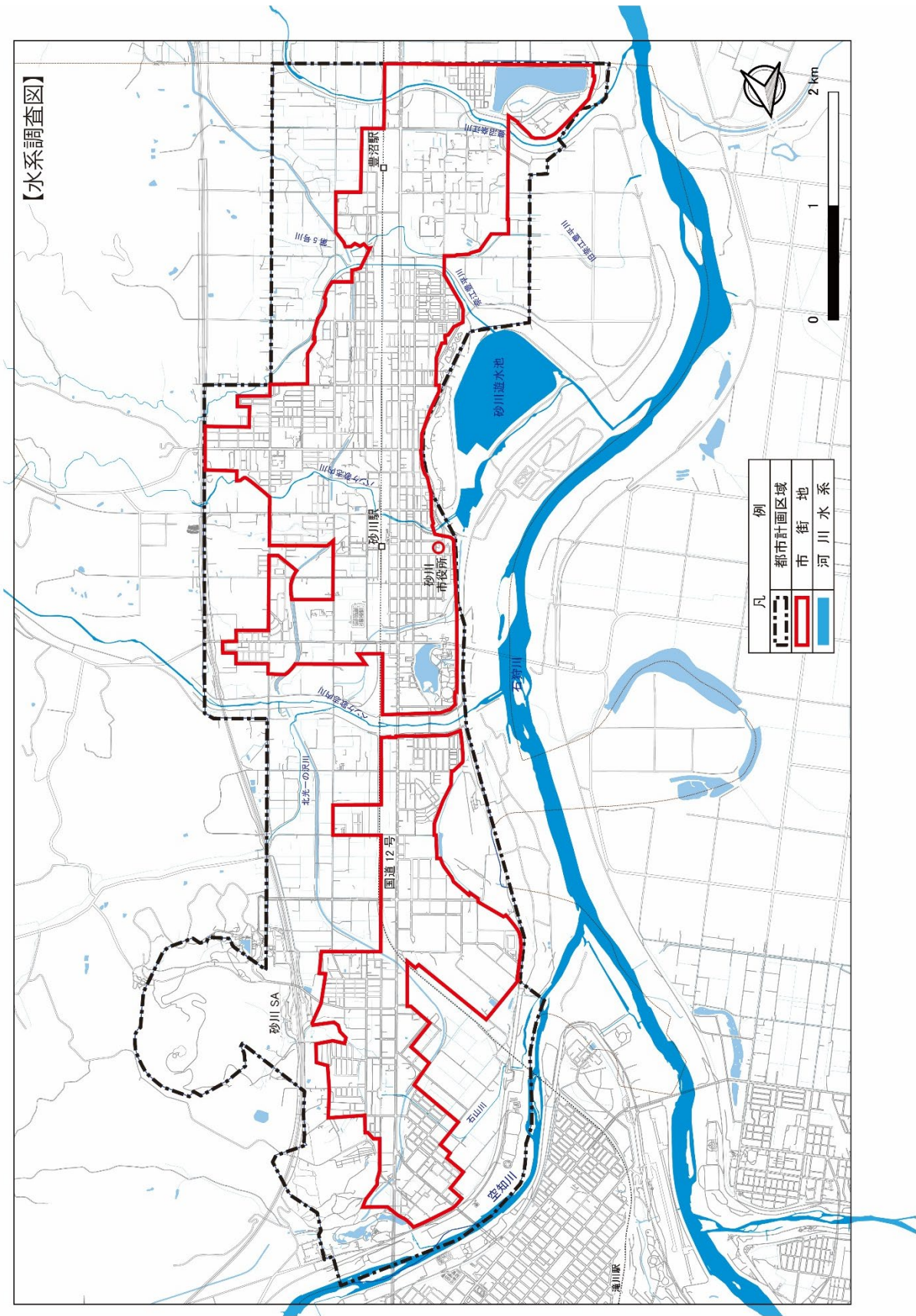


「資料」：気象庁

## (2)水系調査

計画対象区域内の水系は石狩川水系に属し、計画区域西端に一級河川である石狩川と空知川の2大河川が隣接して南北に貫流しており、パンケ歌志内川、パンケ歌志内川などの中小河川が区域内を東西に貫流しています。

図 水系調査図



### (3)土地自然特性

計画対象区域内において土地自然特性を有する箇所としては、「良好な植物群落、野生動物生息地等」及び「良好な地形・地質を有する土地等」として石山公園(北海道子どもの国)が、「良好な水辺地・遊水地等」及び「文化的意義を有する緑・水辺地等」として石狩川水系砂川緑地及びオアシスパーク(砂川遊水地)が該当します。とくに、石山公園を含む広大な樹林地は、二酸化炭素の吸収源であり「ゼロカーボンの達成」への貢献が期待されています。

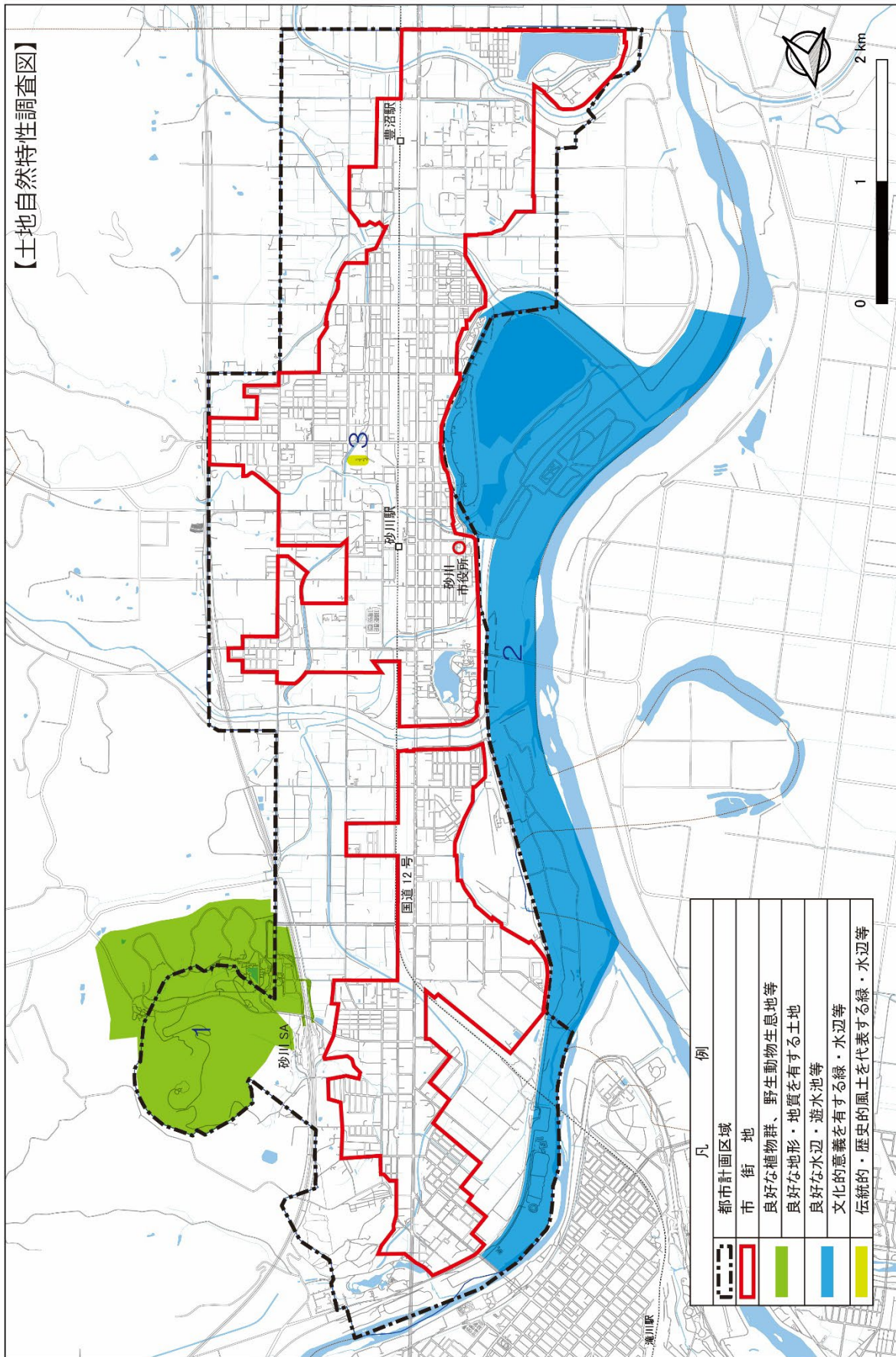
また、「伝統的、歴史的風土を代表する緑・水辺地等」として砂川神社の樹林地が該当します。

表 土地自然特性の概要

図内 番号	特性区分	名 称	面積 (ha)	備 考
1	良好な植物群落	石山公園	232.5 ※	広大な丘陵地帯の中で様々な動植物とふれあいながら体験・レクリエーションが楽しめる良好な植物群落、小動物の生息地となっています。
	良好な地形・地質を有する土地等			
2	良好な水辺地・遊水地等	石狩川水系砂川 緑地及び オアシスパーク	515.3 ※	緑や水と親しみながらスポーツや憩いの場として利用されている良好な緑・水辺地となっています。
	文化的意義を有する緑・水辺等			
3	伝統的・歴史的風土を代表する緑・水辺等	砂川神社	1.5	砂川神社の境内地は良好な樹林が植生しています。

※都市計画区域外の面積も含む

図 土地利用自然特性調査図



#### **(4)生物多様性に資する緑**

##### **①重要湿地**

湿原・干潟等の湿地の減少や劣化に対する国民的な関心の高まり、ラムサール条約における湿地定義の広がりなどを受けて、ラムサール条約登録に向けた礎とすることや生物多様性の保全の観点から、重要な湿地を保全することを目的に「日本の重要湿地 500」が平成 13 年度に環境省により公表されました。（その後、平成 28 年度に見直しが行われています。）

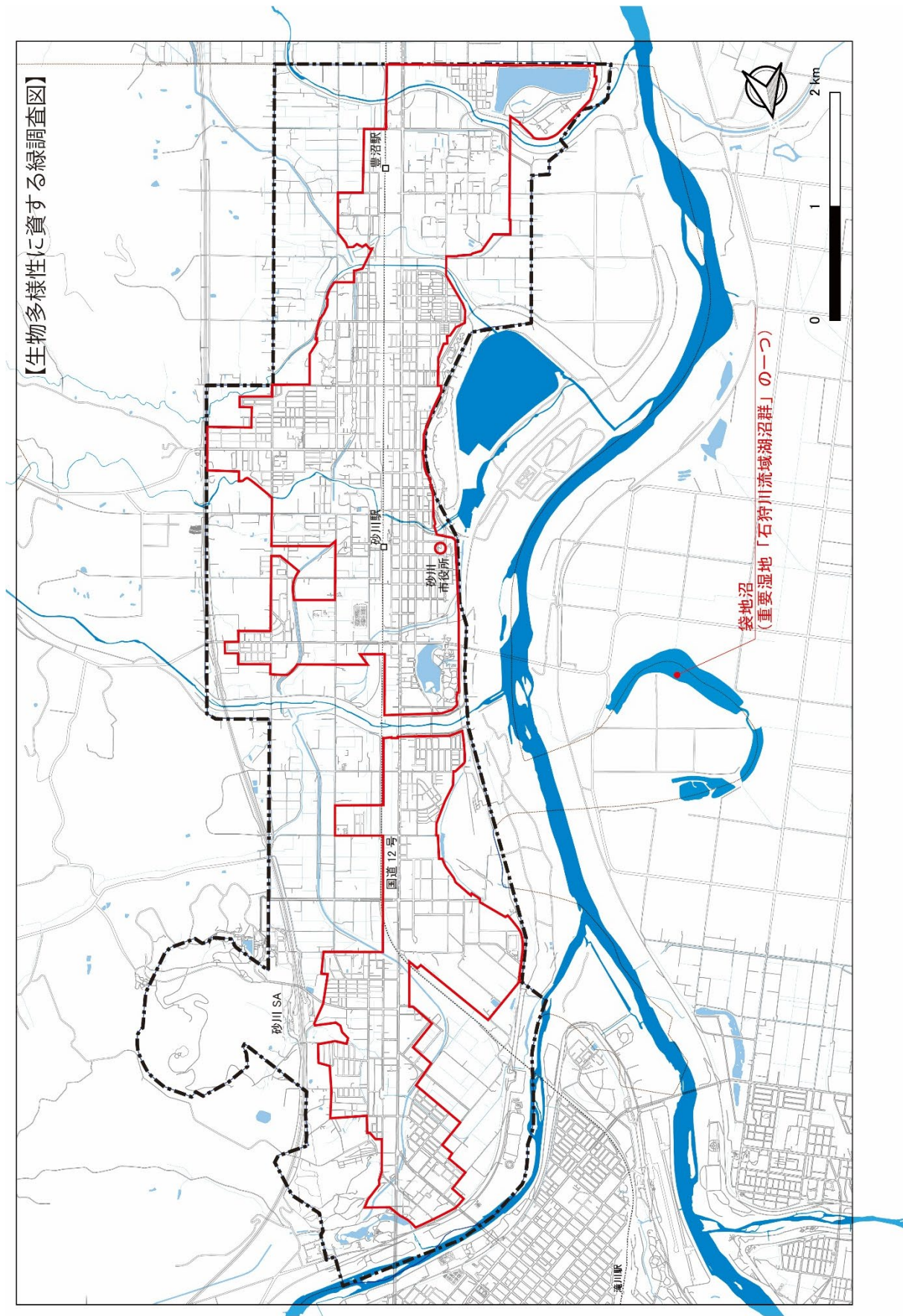
本市と新十津川町の境界部に位置する袋地沼は水鳥類の飛来する重要湿地「石狩川流域湖沼群」の一つとして選定されています。

##### **②重要里地里山**

里地里山は、長い歴史の中でさまざまな人間の働きかけを通じて形成された自然環境とされています。環境省では、さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、全国で 500 箇所を「生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山」）」として平成 27 年度に公表しました。

本市においては、石狩川中流域に位置する河跡湖や旧川である湖沼群と、湖沼を囲むように見られる湿原、周辺の北海道随一の稲作地帯を含む地域について「宮島沼および周辺湖沼群周囲の農地」として選定されています。

図 生物多様性に資する緑調査図



## 1 - 2. 社会的現況調査

### (1)都市の概況

本市は札幌市と旭川市のほぼ中間点に位置しており、東は夕張山系を境に赤平市、歌志内市、上砂川町に接し、西は石狩川を挟んで新十津川町に、北は空知川を挟んで滝川市に、南は奈井江町に接しており、道央圏中空知中部地域に属しています。本市は中空知圏域における機軸として位置付けられ、利便性や快適性など他の地域にはない優位性を活かし、圏域全体の地域振興の先導的役割を担っています。

市域は、東西に約 11.3 キロメートル、南北に約 12.7 キロメートル、総面積は 78.68 平方キロメートルで、市街中心部は、平地地帯と石狩川の間南北に細長く展開し、中央を国道 12 号のほか、北海道縦貫自動車道と JR 函館本線がそれぞれ縦貫しています。

### (2)人口総数と世帯数

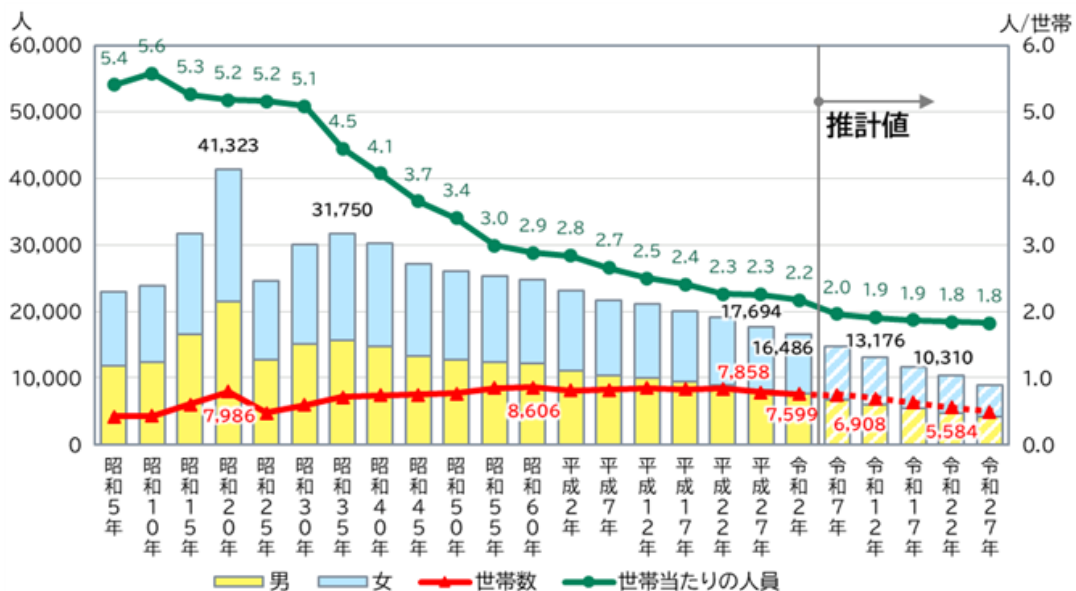
#### ①人口推移

本市の人口は昭和 33 年の市制施行後、昭和 35 年をピークに減少し始め、令和 2 年では 16,486 人となっています。減少傾向は今後も続き、令和 12 年には、13,176 人（令和 2 年の約 80%）になると推計されています。

世帯数は昭和 60 年の 8,606 世帯がピークで、緩やかに増減を繰り返し、令和 2 年では 7,599 世帯となっています。今後は緩やかに減少し、令和 12 年では 6,908 世帯（令和 2 年の約 91%）になると推計されています。

世帯当たりの平均世帯人員は昭和 10 年の 5.6 人/世帯をピークに減少し続け、令和 2 年では 2.2 人/世帯となっています。令和 12 年には 1.9 人/世帯になると推計されています。

図 人口・世帯・世帯当たり人員の推移



※「資料」：令和 2 年までは国勢調査、令和 7 年以降の将来人口（推計値）は、国立社会保障人口問題研究所の結果、将来世帯数は、国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール」（バージョン 2）を用いた計算結果を加工して作成



## ②年齢階級別人口

昭和 60 年以降の年齢階級別人口の推移を国勢調査で見ると、総人口が減少している中で、年少人口の減少と老年人口の増加が目立っています。総人口に対する構成比では、年少人口が昭和 60 年の 20.2% が令和 2 年では 8.7% と減少し、老年人口は昭和 60 年の 11.6% が令和 2 年では 40.2% と増加を示しており、本市では少子高齢化が進行しています。

図 年齢別人口及び割合の推移  
人



「資料」：国勢調査

### (3)土地利用調査

都市計画区域は、昭和 18 年に行政区域全域 17,362.0ha を当初決定し、分村、分町、境界変更による面積の変遷を経て、昭和 44 年に現行の区域界による 2,194.0ha に変更、令和元年に新たな測量成果を導入し、現在は 2,346.0ha となっています。

用途地域は、昭和 44 年 5 月 7 日に面積 855.9ha で当初決定を行い、平成 7 年 11 月 22 日に住居系 7 種別、商業系 2 種別、工業系 3 種別の計 12 種別とし、面積 1,159.0ha を都市計画決定し、平成 30 年 3 月に西 7 北 3 地区（砂川市役所建設地）、三砂地区（南 1 丁目通の線形変更）の用途地域を変更し、現在では全体で 1,159.4ha となっています。

表 市街地面積及び人口の推移

調査年	行政区域		都市計画区域		市街地		人口集中地区 (DID)	
	面積(ha)	人口	面積(ha)	人口	面積(ha)	人口	面積(ha)	人口
平成 17 年	7,869	20,068	2,194.0	19,156	1,159.0	18,341	530	10,100
平成 22 年	7,869	19,056	2,194.0	18,328	1,159.0	17,551	501	9,562
平成 27 年	7,868	17,694	2,194.0	17,168	1,159.0	16,477	391	8,905
令和 2 年	7,868	16,486	2,346.0	-	1,159.4	-	-	-

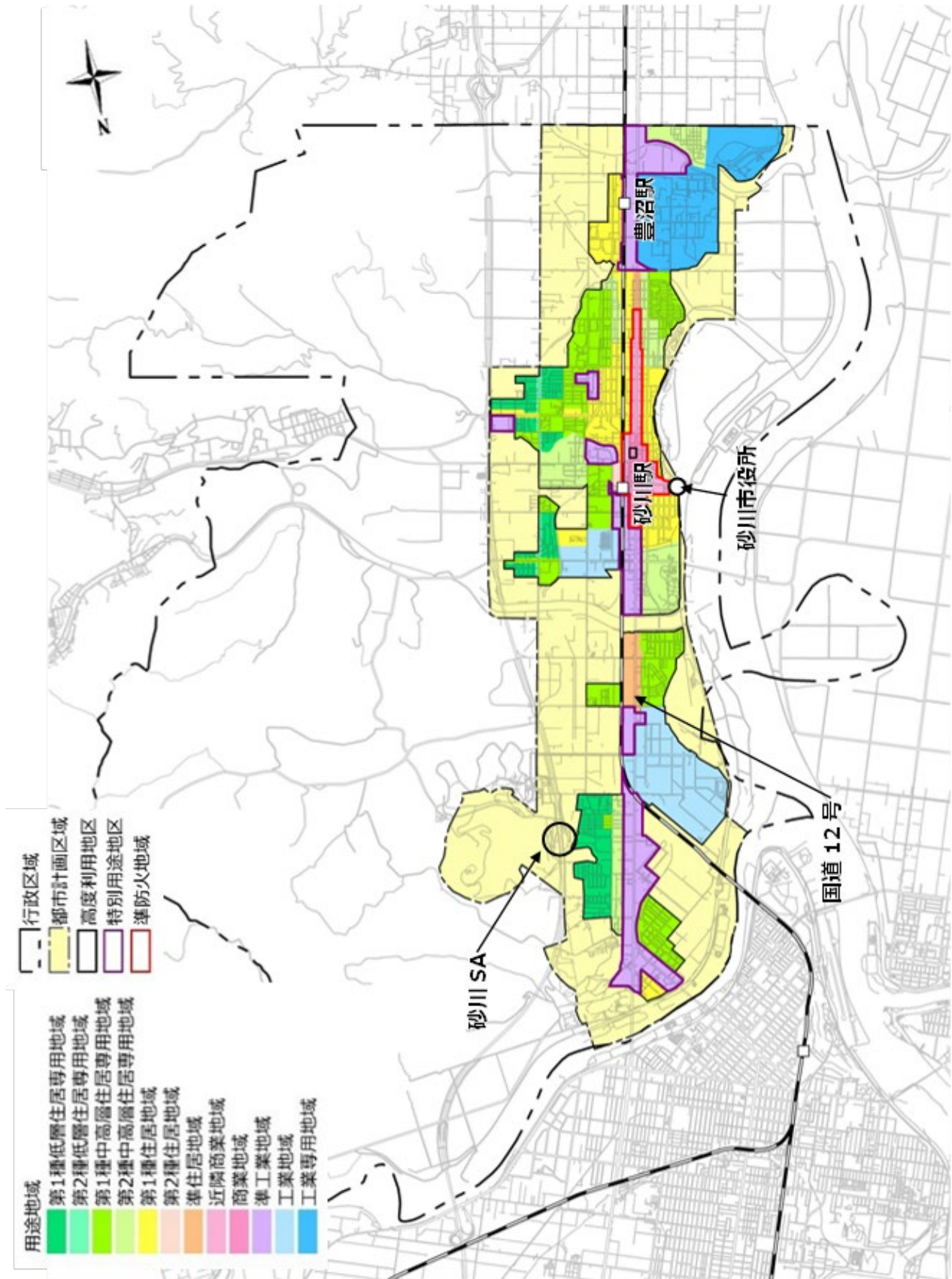
「資料」：国勢調査

表 砂川市の都市計画

区 分		面 積
都市計画区域		2,346.0 ha
用途地域	第 1 種低層住居専用地域	94.0 ha
	第 2 種低層住居専用地域	6.0 ha
	第 1 種中高層住居専用地域	203.0 ha
	第 2 種中高層住居専用地域	138.0 ha
	第 1 種住居地域	152.0 ha
	第 2 種住居地域	5.4 ha
	準住居地域	25.0 ha
	近隣商業地域	32.0 ha
	商業地域	21.0 ha
	準工業地域	185.0 ha
	工業地域	142.0 ha
	工業専用地域	156.0 ha
	計	1,159.4 ha
高度利用地区		0.9 ha
特別用途地区	大規模集客施設制限地区	185.0 ha
準防火地域		53.0 ha
白地地域		1,186.6 ha

「資料」：砂川市土木課

図 都市計画図



#### (4)都市施設

計画対象区域内における都市施設は公園の他に道路、下水道、河川、市場となっており、道路及び下水道については年々整備が進んでいます。その内、緑化の対象となり得る施設は、下の表に示すとおりです。

また、その他の都市施設としては、教育文化施設、社会教育施設、保健医療福祉施設となっており、教育文化施設は小中学校が、保健医療福祉施設では社会福祉施設が中心となっています。

(ただし、砂川市立小中学校は令和8年度までに統合が予定されています。)

表 都市施設の状況

区分			箇所数	延長又は敷地面積
都市計画道路			24	47.3km
その他の 主な都市施設	教育文化施設	小学校	5	15.2ha
		中学校	2	8.0ha
		高等学校	1	5.0ha
		その他	1	0.1ha
		小計	9	28.3ha
	社会教育施設	社会教育施設	3	5.4ha
		小計	3	5.4ha
	保健医療 福祉施設	病院施設	1	2.0ha
		社会福祉施設	3	1.6ha
		保育所	3	0.8ha
		小計	7	4.4ha

「資料」：固定資産台帳ほか

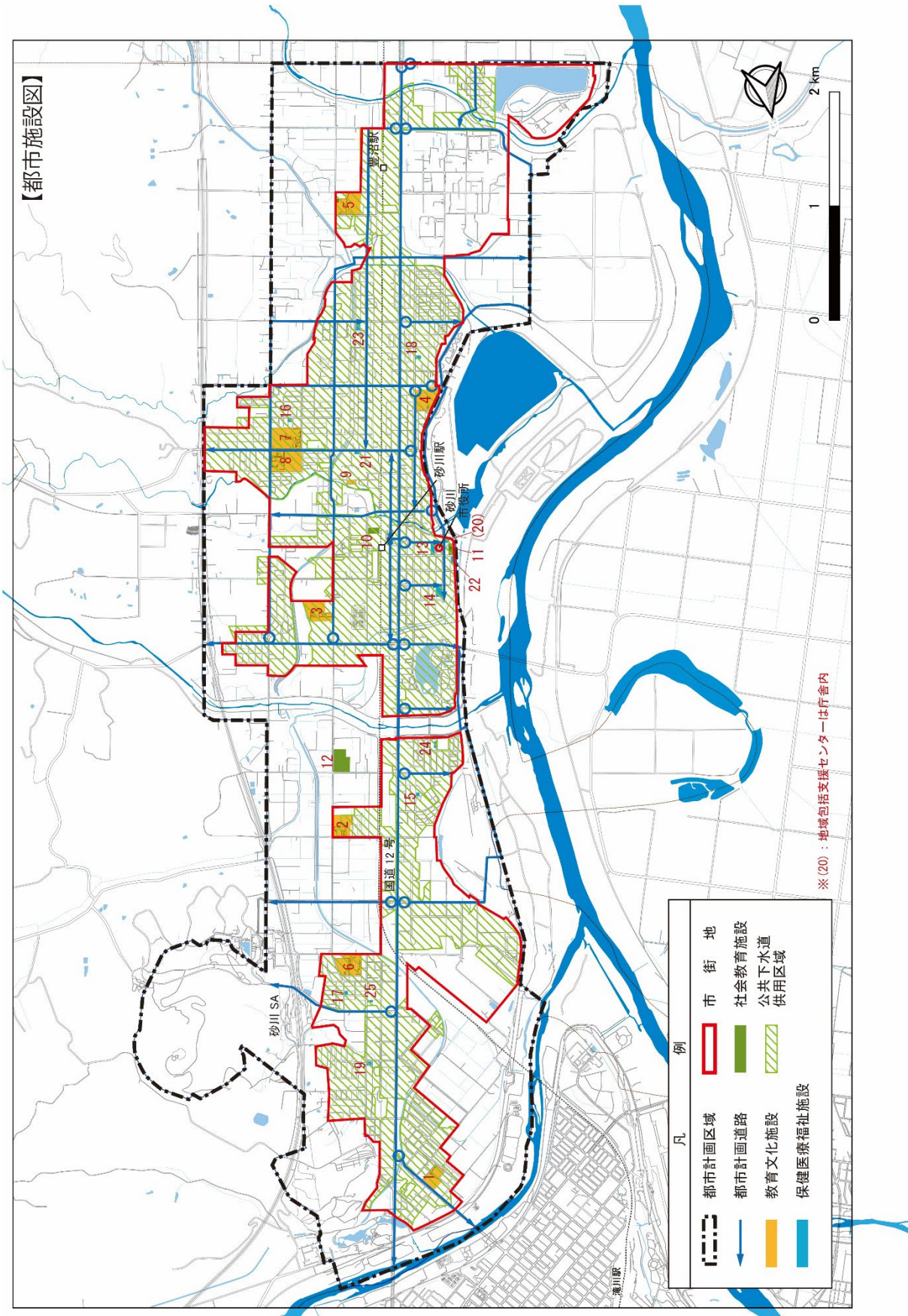
表 その他の主な都市施設の概要

図内番号	区分	施設名	敷地面積 (ha)	緑地面積 (ha)*	図内番号	区分	施設名	敷地面積 (ha)	緑地面積 (ha)*
1	教育 文化 施設	空知太小学校	2.2	1.32	13	保健 医療 福祉 施設	市立病院	2.0	0.04
2		北光小学校	2.8	1.98	14		ふれあいセンター	0.5	0.11
3		中央小学校	3.7	2.60	15		北光老人憩の家	0.1	—
4		砂川小学校	3.1	1.90	16		南吉野老人憩の家	0.1	0.08
5		豊沼小学校	3.4	2.60	17		石山老人憩の家	0.1	0.08
6		石山中学校	3.4	2.70	18		宮川老人憩の家	0.1	0.06
7		砂川中学校	4.6	3.24	19		空知太老人憩の家	0.2	0.08
8		北海道砂川高等学校	5.0	(北海道施設)	20		地域包括支援センター	—	—
9		砂川天使幼稚園	0.1	(0.1)	21		自立支援センター	0.4	0.01
10	社会 教育 施設	地域交流センターゆう	1.5	0.23	22		子ども通園センター	0.1	—
11		図書館・公民館	0.9	—	23		ひまわり保育園	0.2	0.14
12		北海道障害者職業能力開発校	3.0	(北海道施設)	24		さくら保育園	0.4	0.15
					25		空知太保育所	0.2	0.13

\*「緑地面積」：学校や保育園等の場合、グラウンドや園庭も含む面積

「資料」：固定資産台帳ほか

図 都市施設図



### (5)市街地開発事業等調査

市街地再開発事業は、平成 12 年 2 月に施行区域面積 0.9ha で都市計画決定され、平成 13 年 11 月に事業を完了しています。

開発行為は、平成 7 年以降、民間 12 件のほか、土地開発公社 1 件、砂川市 3 件、財団法人 1 件の計 17 件が行われており、約 40.7ha が開発されています。

これらの市街地開発事業等においては、開発施行面積に対する 3%以上の公園、緑地等を確保するものとして整備されています。

表 市街地再開発事業

地区名	種 類	施行者	所在地	施行区域面積 (ha)	都市計画決定年月日	事業計画認可告示年月日	施行年度
東 1 南 1 地区	第一種	個 人	東 1 条南 1 丁目 26、27 ほか	0.9	平成 12.2.29	平成 12.5.12	平成 12～平成 13 年

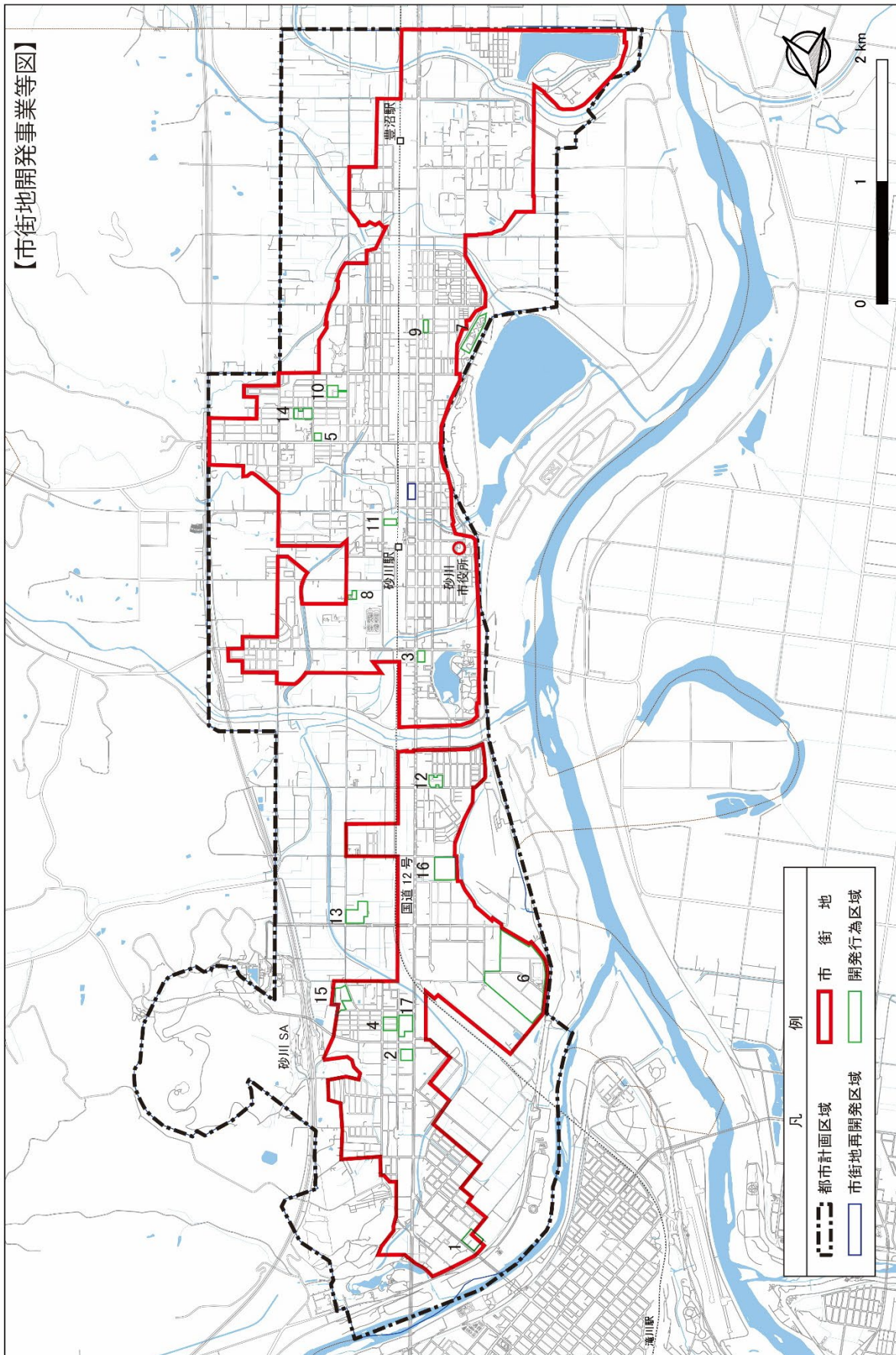
「資料」：砂川市土木課

表 開発行為

図内番号	事 業 主 体	位 置	施行面積 (㎡)	許可年月日
1	民 間	空知太西 6 条 6 丁目 7 外 17 筆	11,900.62	平成 7.6.21
2	民 間	空知太東 1 条 3 丁目 363-3 外 2 筆	4,087.46	平成 7.5.26
3	民 間	西 1 条北 10 丁目 1 外 5 筆	6,253.73	平成 7.5.2
4	民 間	空知太東 2 条 2 丁目 380-3 外 12 筆	8,749.80	平成 7.12.22
5	民 間	吉野 1 条南 5 丁目 36-75	3,966.80	平成 8.4.8
6	土地開発公社	西 6 条北 23 丁目 270-1 外 99 筆	231,800.83	平成 7.11.7
7	財団法人	西 7 条南 11 丁目 14-1 外 4 筆	23,279.37	平成 8.6.27
8	民 間	東 6 条北 5 丁目 19-10、東 6 条北 6 丁目 19-9	3,834.03	平成 9.12.24
9	民 間	西 1 条南 11 丁目 7-4 外 1 筆	3,958.40	平成 13.5.17
10	民 間	吉野 1 条南 8 丁目 4-2 の内、4-4	5,864.13	平成 14.7.30
11	砂 川 市	三砂町 56-3 外 1 筆	6,160.54	平成 16.6.29
12	民 間	西 3 条北 15 丁目 36-4	7,457.15	平成 16.8.11
13	民 間	北光 237 番地 1 外 2 筆	19,830.77	平成 19.1.16
14	砂 川 市	吉野 2 条南 6 丁目 9-53 外 10 筆	16,698.93	平成 19.8.24
15	砂 川 市	空知太東 4 条南 1 丁目 389-127 外 10 筆	12,957.48	平成 21.8.25
16	民 間	西 3 条北 19 丁目 68-2 外 6 筆	20,770.67	平成 24.9.27
17	民 間	空知太東 1 条 2 丁目 375-15 外 8 筆	19,595.13	平成 25.12.16
		合 計	407,165.84	

「資料」：砂川市土木課

図 市街地開発事業等図



## 1 - 3. 緑地現況調査

### (1) 緑の現況

本市の緑は、大まかには西側から東側に向かって、石狩川・空知川等の大河川沿いの水辺・緑地→市街地の緑→農耕地の緑→樹林地の緑、と連続した環境にあり、その間をパンケ歌志内川、パンケ歌志内川といった中小河川が東西に横断しているのが特徴となっています。

計画対象区域内の緑の現況は、区域の東側に広がる農地や都市公園の植栽地、水面・水辺等によって構成されています。区域別では市街地内が 89.80ha、市街地外が 872.99ha となっており、これらを合わせた緑の現況量は 962.79ha となっています。（GIS の図面計測による面積数値）このうち、本計画に関連する緑地は施設緑地及び地域制緑地です。

表 緑の現況量の計量

区分		市街地内①		市街地外②		都市計画区域	
		面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)
地域森林計画対象民有林		16.38	18.2	174.35	20.0	190.73	19.8
農地	水田	-	-	300.80	34.5	300.80	31.2
	畑	-	-	41.01	4.7	41.01	4.3
	小計	-	-	341.81	39.1	341.81	35.5
水面・水辺		23.361	26.1	152.47	17.5	175.83	18.3
都市公園		50.05	55.7	204.36	23.4	254.42	26.4
合計		89.80	100.0	872.99	100.0	962.79	100.0

「資料」：砂川市土木課（農地、都市公園、水面・水辺）、国土数値情報（地域森林計画対象民有林）

※面積は GIS による図面計測による。